

三浦半島南西部沿岸の魚類—V

工藤孝浩・山田和彦

Takahiro Kudo and Kazuhiko Yamada:

Fish Fauna in the Coast of Southwestern Area of Miura Peninsula-V

Summary: Fish fauna in the coast of southwestern area of the Miura Peninsula were researched and 402 species has hitherto been recorded from the area since 1988. In the recent survey 22 species are newly recorded from the area from November 2000 to October 2002. Especially, the following 6 species are the first records from Sagami Bay: *Phoxacampus belcheri*, *Ocynectes modestus*, *Triso dermatopterus*, *Apogon unicolor*, *Chromis lepidolepis* and *Scartella cristata*.

はじめに

筆者らは、相模湾の魚類相を明らかにすることを目的として、1988年から城ヶ島を中心とした三浦半島南西部沿岸の水深10m以浅で主にスノーケリングによる魚類の目視観察調査を続けている。前報までに402種を報告したが(工藤・山田, 2001), その後新たに発見されて標本を収集することができた22種を追加報告する。また、これまでに未記載種として報告後に新称が付されたものが1種あったので、あわせて報告する。

調査方法

本報告では、これまでの採集地に三浦市城ヶ島はとりと三浦市二町谷沖を加えた(図1)。調査方法はスノーケリングと陸上からの目視観察・採集を主とし、原則として水深10m以浅に出現した魚類を調査対象とした。城ヶ島の長津呂以外での調査は不定期に実施したため、調査頻度は一定していない。また、補足的に釣獲調査と漁業者が操業する刺網の漁獲物調査とを行った。標本は生鮮時にカラー写真撮影後、横須賀市自然博物館魚類資料(YCM-P)として登録保管した。魚種名、分類学的配列および全般的な分布記録などは中坊編(2000)に、また幼期については沖山編(1988)に従った。

調査結果

目録で使用した種の番号(403~)は、前報(工藤・山田, 2001)で記録した最後の番号に追録した。本報告の標本に関する記述は、標本番号、丸括弧内に標本長(SL:標準体長,またはTL:全長)(複数個体の場合は個体数および標本長範囲)採集年月

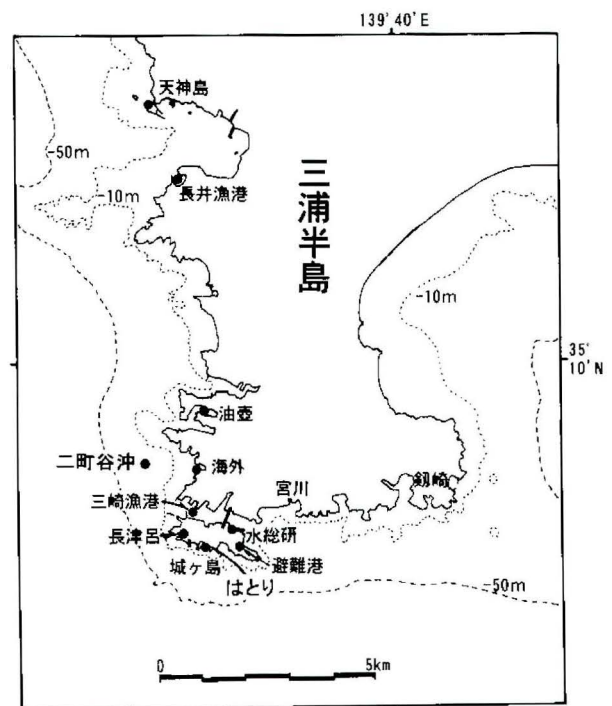


図1. 調査地点。

Fig. 1. Map showing collection localities in investigation area.

日、採集地、採集方法、採集者ならびに図版番号の順に記した。

403. オクヨウジ *Urocampus nanus*

YCM-P39943 雄(102.3mmSL) YCM-P39944 雌(106.0mmSL), Apr.29,2001, 城ヶ島大橋下, 手網, 採集者: 山田(図2-1)

松島湾および佐渡島から沖縄島のアマモ場に分布し、相模湾では横須賀市天神島から記録がある(林, 1995)。標本個体は雌雄同時に水深60cmのアマモ帯から採集され、雄は孵化直前の卵を抱いていた。

404. ボウヨウジ *Phoxocampus belcheri*

YCM-P31928 (21.2mmSL), Sep.15,2001, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図2-2)

駿河湾以南に分布するとされ, 相模湾から初記録となる。標本個体は台風通過の4日後, 波静かな入江の水深50cmの水中に漂っているところを採集された。

405. ツマリトビウオ *Parexocoetus brachypterus brachypterus*

YCM-P31893 (28.0mm), Oct.26,2000, 城ヶ島水総研岸壁, 手網, 採集者: 工藤 (図2-3)

南日本に分布し, 相模湾では成魚が三戸定置網で漁獲されている(山田・工藤, 1992)。標本個体は荒天後沿岸部に多量の浮遊ゴミが漂着した際に, 単独で海面を漂っていたものが発見・採集された。

406. ホソトビウオ *Cypselurus hiraii*

YCM-P31882 (13.4mm), July 25,2001, 城ヶ島長津呂, 手網, 採集者: 山田

相模湾においては, 成魚が5月から8月上旬まで定置網で同属のツクシトビウオ *C. heterurus doederleini* とともに漁獲され(山田・工藤, 1993), 幼魚は7月頃から沿岸部に現れる。採集当日は城ヶ島のほか, 対岸の宮川にも流れ藻が多量に漂着し, 流れ藻に随伴する稚魚類が多量採集された。

407. ウチダトビウオ *Cypselurus naresii*

YCM-P31883 (15.7mm), July 25,2001, 城ヶ島長津呂, 手網, 採集者: 山田

房総半島以南の南日本に分布し, 相模湾周辺では横浜市金沢湾から記録がある(工藤・中村, 1999)。標本個体は, 城ヶ島周辺に流れ藻が多量に漂着した際に前種ホソトビウオとともに採集された。

408. ムツカジカ *Ocyneustes modestus*

YCM-P319095 (2個体, 18.6,56.3mm), May 9,2001, 城ヶ島はとり, スノーケリング, 採集者: 山田 (図2-4); YCM-P31880 (2個体, 38.5,71.5mm), Aug.15,2001, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田

北海道南部から千葉県小湊までの潮だまりに分布するとされ, 相模湾からは初記録となる。標本個体はいずれも外海に面した波当たりの強い岩礁の, 水面直下の紅藻群落の中から採集された。人目につきにくい場所にすんでいる事から, これまで相模湾から未発見であったが, 再生産しているものと思われる。

409. ヒメスイ *Vellitor minutus*

YCM-P31925 (61.7mm), Sep.12,2001, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図2-5)

本種は天神島で採集された標本をもとに新種記載され(林, 1995), 相模湾では天神島のほか, 葉山町芝崎から記録がある(萩原・長谷川, 1990)。標本個体は, 台風通過の翌日に発見され, 水深1mに生えるカジメに寄り添うように定位していた。

410. トビハタ *Triso dermopterus*

YCM-P42006 (313.0mmSL), Sep.29,2000, 二町谷沖水深20m, 釣り, 採集者: 工藤 (図2-6)

琉球列島を除く南日本と小笠原に分布するとされているが, これまで相模湾からの記録がなかった。標本個体は相模湾初記録となる成魚で, 水深20mの岩礁帯から釣獲された。その後, 2002年秋には藤沢定置網で未成魚2個体が漁獲されている(山田・工藤, 2003)。

411. ハナイシモチ *Apogon unicolor*

YCM-P42097 (81.2mmSL), Aug.25,2002, 三崎漁港, 釣り, 採集者: 山田 (図2-7)

三浦半島周辺では, 横浜からの記録があるのみである(Steindachner & Döderlein, 1983)。標本個体は, 三崎漁港内の防波堤から夜間釣獲された。本種の記録は極めて稀で, 国内産標本の生鮮時のカラー写真は知られていないことから, 横須賀市自然博物館の林公義館長が詳細な記載を別途報告する予定である。

412. ヒメフエダイ *Lutjanus gibbus*

YCM-P39933(41.1mmSL), Sep.29,2002, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図2-8)

相模湾では天神島から記録がある(林, 1995)。標本個体は, 入り江の水深2mの砂底をアイゴ *Siganus fuscescens* やベラ類と混泳していた3個体のうちのひとつである。

413. ミスジチョウウオ *Chaetodon lunulatus*

YCM-P31994(20.0mmSL), Nov.16,2001, 油壺, 手網, 採集者: 日高芳子 (図2-9)

相模湾以南に分布するとされ, 三浦半島周辺では横浜市金沢湾から記録がある(横浜市港湾局監修, 1988)。標本個体は, 油壺湾奥の水深2mに係留されている小型生簀に数日間定位していた。三浦半島周辺産標本はいずれも体長20mm以下の小型個体であるが, 本種はサンゴのポリブを専食することから, 造礁サンゴが成育しない当海域での定着期間は短く, 成長も鈍いようである。

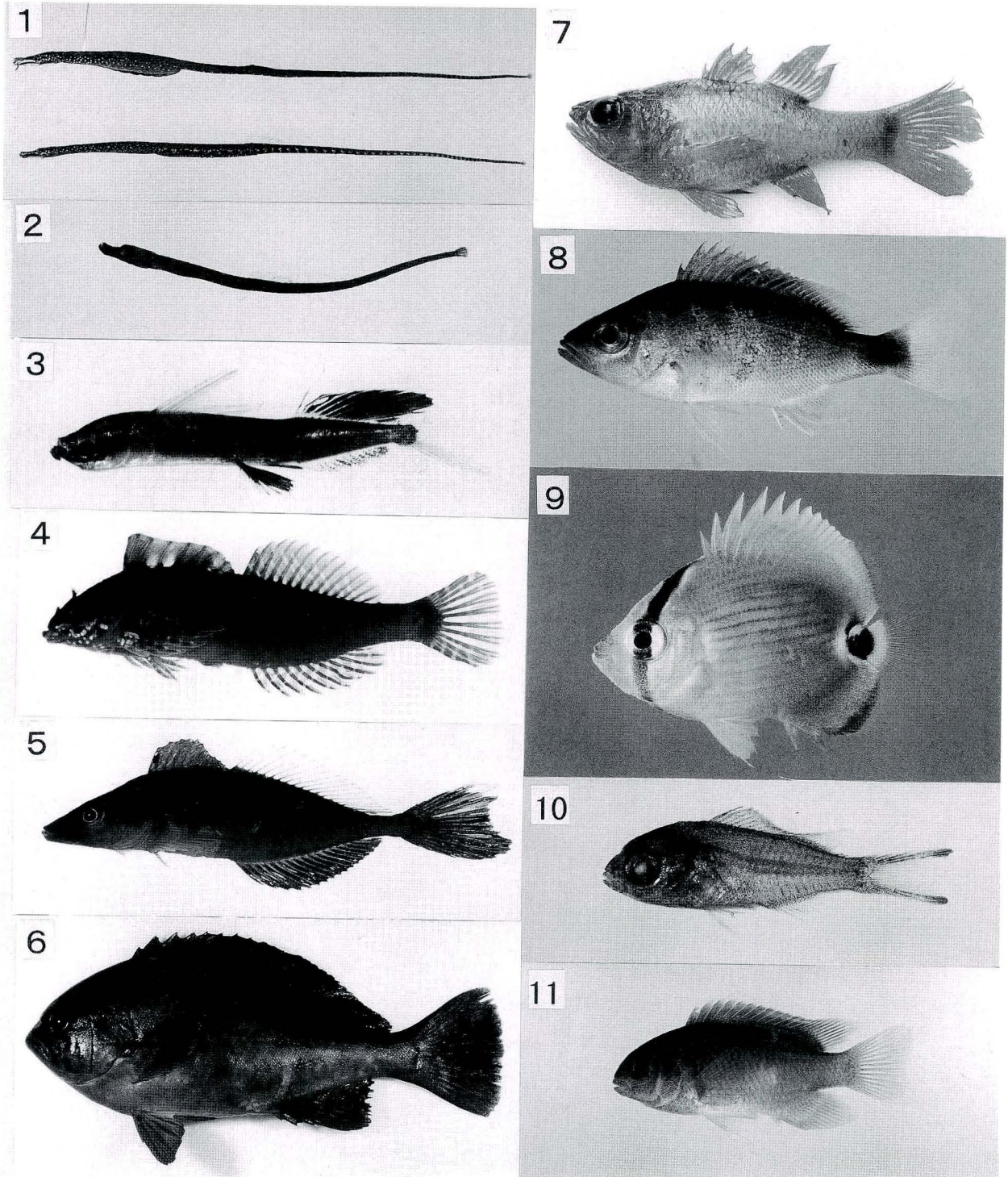


図2. 1:オクヨウジ YCM-P39943;YCM-P39944, 2:ボウヨウジ YCM-P31928, 3:ツマリトビウオ YCM-P31893, 4:ムツカジカ YCM-P319095, 5:ヒメスイ YCM-P31925, 6:YCM-P42006, 7:ハナイシモチ YCM-P42097, 8:ヒメフエダイ Y CM-P39933, 9:ミスジチョウチョウウオ YCM-P31994, 10:ササズメダイ YCM-P31922, 11:ネズズメダイ YCM-P39936.

Fig.2. 1:*Urocampus nanus*, 2:*Phoxocampus belcheri*, 3:*Parexocoetus brachypterus brachypterus*, 4:*Ocynectes modestus*, 5:*Vellitor minutus*, 6:*Triso dermatopterus*, 7:*Apogon unicolor*, 8:*Lutjanus gibbus*, 9:*Chaetodon lunulatus*, 10:*Chromis lepidolepis*, 11:*Chrysiptera glauca*.

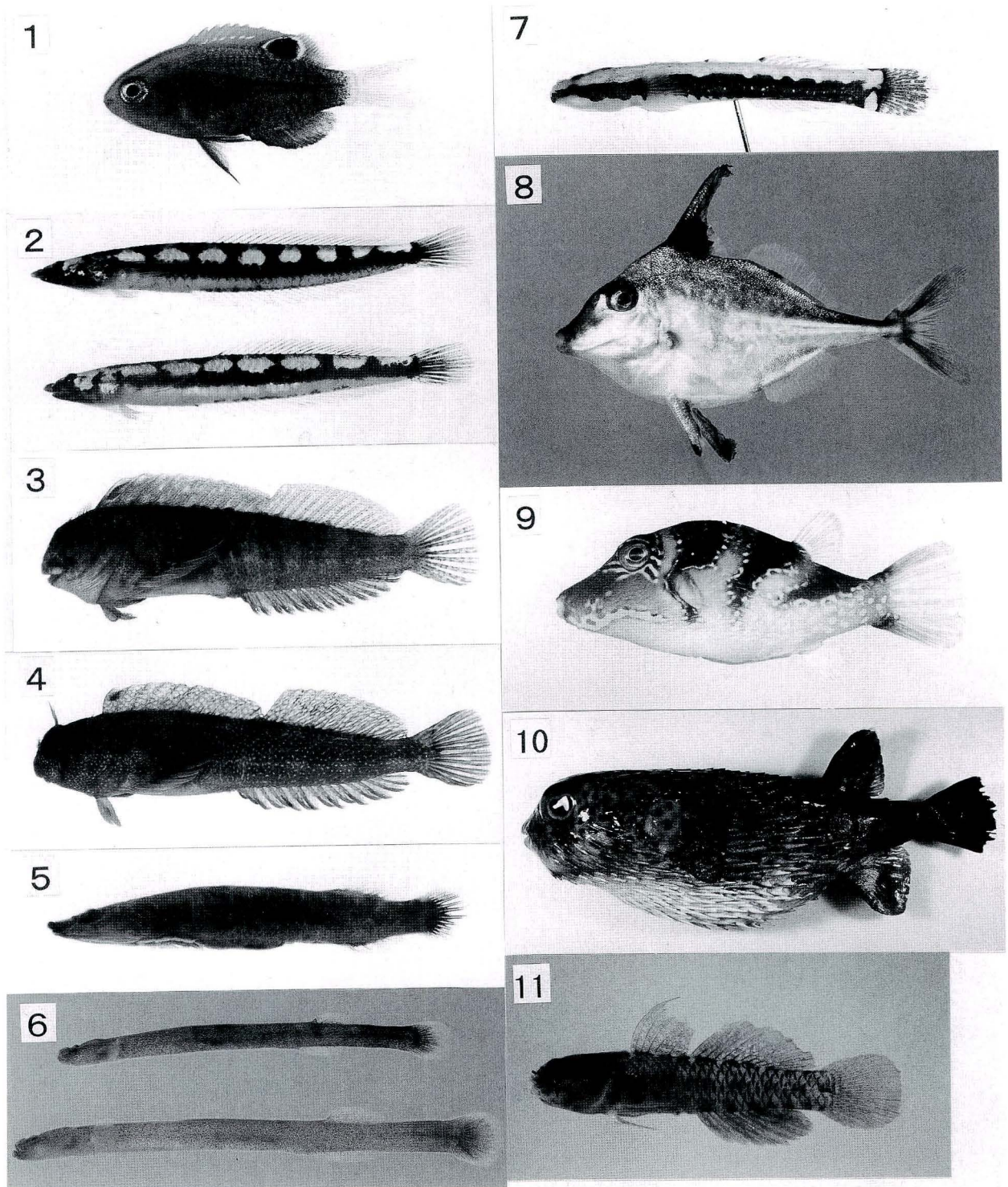


図3. 1:メガネスズメダイ YCM-P31930, 2:トビギンポ YCM-P31901, 3:タテガミギンポ YCM-P31871, 4:ホシギンポ YCM-P31915, 5:ホソウバウオ YCM-P31877, 6:ナンセンハゼ YCM-P31897, 7:シロヒゲセジロハゼ YCM-P31936, 8:ギマ YCM-P39934, 9:ハナキンチャクフグ YCM-P39935, 10:ネズミフグ YCM-P42007, 11:アカイソハゼ YCM-31857.

Fig.3. 1:*Pomacentrus bankanensis*, 2:*Limnichthys fasciatus*, 3:*Scartella cristata*, 4:*Entomacrodus stellifer stellifer*, 5:*Pherallodus indicus*, 6:*Luciogobius parvulus*, 7:*Clariger* sp., 8:*Triacanthus biaculeatus*, 9:*Canthigaster coronata*, 10:*Diodon hystrix*, 11:*Eviota* sp.2.

414. ササズメダイ *Chromis lepidolepis*

YCM-P31922 (14.8mmSL), Sep.12.2001, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図2-10)

三宅島から琉球列島に分布するとされており, 相模湾初記録である。標本個体は, ほぼ同じ大きさの同属のスズメダイ *C. notata notata* の群らごりに混ざっていた2~3個体のうちのひとつである。

415. ネズズメダイ *Chrysiptera glauca*

YCM-P39936 (30.2mmSL), Oct.9.2002, 城ヶ島長津呂, 手網, 採集者: 斉藤大明 (図2-11)

和歌山県以南の南日本に分布するとされているが, 相模湾では三崎から記録がある (松原, 1955)。標本個体は, 台風通過の約1週間後に高位の潮だまりから採集された。

416. メガネスズメダイ *Pomacentrus bankanensis*

YCM-P31930 (13.7mmSL), Sep.16.2001, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図3-1)

琉球列島のサンゴ礁の礁原上に分布するとされており, 相模湾では下田市田ノ浦湾から記録がある (林ほか, 1992)。標本個体は, 単独で水深1mにある岩の裂け目を出入りしていた。

417. トビギンボ *Limnichthys fasciatus*

YCM-P31912(2) (30.8, 31.8mm), May 9, 2001, 城ヶ島はとり, 手網, 採集者: 山田; YCM-P31901 (2個体, 46.9, 48.5mm), May 23, 2001, 城ヶ島はとり, 手網, 採集者: 山田 (図3-2)

相模湾では, 天神島 (林, 1995), 小田原市早川 (野村, 1999) から記録がある。標本個体は, 外海に面した岩礁帯にある潮下帯の貝殻混じりの砂中から採集された。城ヶ島では, 長津呂や東端の安房崎からも採集されている。

418. タテガミギンボ *Scartella cristata*

YCM-P31871 (75.4mmSL), Aug.15.2001, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図3-3)

静岡県から高知県までの岩礁性海岸・潮だまりに分布するとされており, 相模湾初記録となる。標本個体は, 波当たりの強い岩礁の水面直下からホシギンボ, イソギンボ *Parablennius yatabei* とともに採集された。個体数は少ない。

419. ホシギンボ *Entomacrodus stellifer stellifer*

YCM-P31902 (2個体, 20.81, 60.0mmSL), May 23, 2001, 城ヶ島はとり, スノーケリング, 採集者: 山

田; YCM-P31915 (95.8mmSL), July 4, 2001, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図3-4); YCM-P31870 (2個体, 89.1, 102.0mmSL), Aug.15.2001, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田

三浦半島以南の南日本, 琉球列島に分布し, 相模湾では真鶴から記録がある (中村, 1970)。標本個体は, いずれも波当たりの強い岩礁の水面直下から採集された。7月には岩の窪みで産着卵を保護する個体が観察された。2001年8月下旬の台風以来, 個体数は激減した。

420. ホソウバウオ *Pherallodus indicus*

YCM-P31877 (21.1mmSL), Aug.15.2001, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図2-5)

静岡県から長崎県の浅海岩礁域に分布し, 相模湾では天神島 (林, 1995) と伊豆海洋公園 (林・林, 1992) から記録がある。標本個体は, 波当たりの強い岩礁の水深1m付近のムラサキウニがすむ岩の窪みから採集された。

421. ナンセンハゼ *Luciogobius parvulus*

YCM-P31897 (2個体, 32.7, 41.2mmSL), May 9, 2001, 城ヶ島はとり, 手網, 採集者: 山田 (図2-6)

青森県から長崎県の潮だまりの礫間に分布し, 相模湾では田ノ浦湾 (林ほか, 1992), 三浦半島 (松原, 1955) から記録がある。標本個体は, 外海に面した岩礁の礫中から採集された。当調査海域における個体数は決して少なくないと考えられるが, 生息場所が特殊なことからこれまで未発見であった。

422. シロヒゲセジロハゼ *Clariger* sp.

YCM-P31936 (18.2mmSL), Oct.3.2001, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図2-7)

千葉県, 静岡県の岩礁性海岸の潮下帯の転石下に分布し, 相模湾からは田ノ浦湾から記録がある (林ほか, 1992)。本種は, 明仁ほか (2000) により新称が与えられたもので, これまでに近似種のセジロハゼ *C. cosmurus* とされた標本には両種が混同されている可能性があるため再検討を要する。標本個体は, 岩礁帯の砂礫中から採集され, セジロハゼも同所的にみられた。

423. ギマ *Triacanthus biaculeatus*

YCM-P39934 (52.9mmSL), Sep.30.2001, 城ヶ島水総研岸壁, 手づかみ, 採集者: 工藤 (図3-8)

静岡県以南に分布するとされているが、相模湾では三戸定置網から記録があり(山田・工藤, 1992), 東京湾では1995年以降頻繁に出現している(工藤・中村, 1999; 工藤ほか, 2002)。標本個体は、サザエの幼貝を養成するため数ヶ月間海面に設置した生簀の中に入り込んでいた。

424. ハナキンチャクフグ *Canthigaster coronata*
YCM-P39935 (50.1mm), Oct.9,2002, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図3-9)

相模湾以南の岩礁やサンゴ礁に分布し、相模湾では毘沙門の定置網(山田・工藤, 1999)と天神島から記録がある(林, 1995)。標本個体は、水深2mの海底近くを単独で遊泳しており、採集の数日後にも同じ場所で別個体が目視確認された。

425. ネズミフグ *Diodon hystrix*

YCM-P42007 (240.0mmSL), Sep.4,2001, 城ヶ島沖, 刺網, 採集者: 金子武美 (図3-10)

和歌山県以南の太平洋岸に分布するとされ、相模湾では伊豆海洋公園から記録がある(渡辺, 1991)。

補 足

215. アカイソハゼ *Eviota* sp.2

YCM-31857 (27.4mmSL), Oct.4,2000, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図3-11)

本種は、工藤・岡部(1991)で、イソハゼ属の1種として報告したが、その後明仁ほか(2000)によって新称が与えられたので、標本を指定して改めて報告する。相模湾からは田ノ浦湾から記録があり(林ほか, 1992), 当調査海域の外海に面した岩礁潮下帯に比較的普通にみられる。

謝 辞

横須賀市自然博物館の林 公義館長からは標本の登録と同定でお世話になるとともに、種々のご教示をいただき、宮内庁生物学御研究所の池田祐二氏からは貴重な情報をいただいた。また、斉藤大明氏、(株)油壺ボートサービスの日高芳子氏、城ヶ島漁業協同組合の金子武美氏からは標本を提供いただいた。謹んで感謝の意を表す。

文 献

- 明 仁・坂本勝一・池田祐二・岩田明久, 2000. ハゼ垂目. 中坊徹次編, 日本産魚類検索 全種の同定 第二版, pp.1139-1310, 東海大学出版会, 東京.
- 萩原清司・長谷川孝一, 1990. 葉山町芝崎周辺の沿岸魚類. 神奈川自然誌資料,(11): 103-110.
- 林 弘章・林 公義. 1992. I.O.P.のウバウオ2. 伊豆海洋公園通信, 3(9): 2-3.
- 林 公義, 1995. 天神島自然教育園海域の魚類相. 横浜国立大学環境科学センター紀要, 21(1): 243-258.
- 林 公義・伊藤 孝・岩崎 洋・林 弘章・萩原清司・足立行彦・長谷川孝一・木村喜芳, 1992. 伊豆半島須崎, 田ノ浦湾周辺海域の魚類 (追補). 神奈川自然誌資料,(13): 17-27.
- 工藤孝浩・中村良成, 1999. 横浜, 川崎および中の瀬海域から初記録の魚類-Ⅲ, 神奈川自然誌資料.(20): 45-54.
- 工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸の魚類. 神奈川自然誌資料,(11): 29-38.
- 工藤孝浩・滝口直之・柵瀬信夫, 2002. 横浜市平潟湾流域の魚類相と人為的環境変化. 神奈川県水産総合研究所研究報告 ,(7): 135-148.
- 工藤孝浩・山田和彦, 2001. 三浦半島南西部沿岸の魚類-Ⅳ, 神奈川自然誌資料,(22): 33-42.
- 松原喜代松, 1955. 魚類の形態と検索 I-Ⅲ. xii + 790pp., vi + 791-1605pp., xiv + 135pls., 石崎書店, 東京.
- 中坊徹次編, 2000. 日本産魚類検索 全種の同定 第2版 I, II. lvi + 866pp., vii + 867-1748pp., 東海大学出版会, 東京.
- 中村一恵, 1970. 相模湾沿岸のタイドプール魚類. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (1):1-33,12pls..
- 野村智之, 1999. 早川の海: 砂中に潜む魚たち. 伊豆海洋公園通信, 10(2): 6.
- 沖山宗雄編, 1988. 日本産稚魚図鑑. xii + 1157pp. 東海大学出版会, 東京.
- Steindachner, F. and L. Döderlein, 1883. Beitrage zur Kenntniss der Fische Japan's, II. Denkschr.Akad.Wiss.Wien, 48: 1-40,pls.1-7.
- 渡辺浩之, 1991. 伊豆海洋公園の海. 伊豆海洋公園通信, 2(2): 6.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1992. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅲ. 神奈川自然誌資料,(13): 45-53.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1993. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅳ. 神奈川自然誌資料,(14): 49-52.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1999. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅷ. 神奈川自然誌資料,(20): 55-59.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2003. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・X II. 神奈川自然誌資料,(24): 65-66.
- 横浜市港湾局監修, 1988. 魚ッチング・ヨコハマ海の公園の魚介類-1. 159pp. (社)横浜港振興協会, 横浜.

(工藤: 神奈川県水産総合研究所, 山田: 相模湾海洋生物研究会)